BEST AVAILABLE COPY

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

04-123493

(43) Date of publication of application: 23.04.1992

(51)Int.CI.

H05K 13/04

(21)Application number : 02-244348

(71)Applicant: MATSUSHITA ELECTRIC IND CO

LTD

(22)Date of filing:

14.09.1990

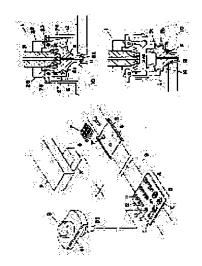
(72)Inventor: KOYAMA MASAHIDE

(54) METHOD OF AUTOMATICALLY REPLACING NOZZLE SECTION

(57)Abstract:

PURPOSE: To make it possible to automatically replace various types of nozzle sections by collecting a nozzle section mounted to a movable head in to a collecting section, followed by mounting a replacing nozzle section loaded on a conveying body to the movable section, and further followed by conveying this conveying body out of a positioning section.

CONSTITUTION: A movable head 1 comes at above a hole section 11 of collecting section A and moves down. Nozzle 8a is fitted in to the hole section 11, and further a thrusting section 26 is thrusted onto the upper surface of a receiving section 12 to open coupling pallets 24, thereby separating a pallet section 27 from a coupling section 8b and collecting the nozzle section 8. Next, the movable head 1 comes at above the replacing nozzle section 8 that is attached to a hole section 13 in a distributing section B and moves down. Then, the tapered lower surface 27a of pallet section 27 touches a shoulder portion of coupling section 8b to force to open



the coupling section 8b and the pallet section 27 is fitted to the coupling section 8b. Thus, when a new nozzle section 8 is mounted to the movable head I, the movable head 1 moves up to a waiting position and the conveying body 10 is conveyed out of a positioning section 5 by a conveyor 9.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

19日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

平4-123493 ⑫ 公 開 特 許 公 報(A)

®Int. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

43公開 平成4年(1992)4月23日

H 05 K 13/04

8315-4E Α

> 審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

公発明の名称

ノズル部の自動交換方法

頭 平2-244348 ②特

顧 平2(1990)9月14日 **@出**

@発 明 者 願

人

小 山 짤 秀 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器產業株式会社内

大阪府門真市大字門真1006番地

分代

包出

松下電器産業株式会社 弁理士 小鍜治

外2名

1.発明の名称

ノズル部の自動交換方法

2. 特許請求の範囲

コンベヤにより基据を位置決め部に搬送し、 移載ヘッドに着脱自在に装着されたノズル部に 電子部品を吸着して、この基板に移送搭載する ようにした電子部品の実装手段において、上記 ノズル部の回収手段と、交換用ノズル部を備え た搬送担体を、上配コンベヤにより搬送して上 記位置決め部に位置決めし、上記移載ヘッドと 搬送担体を相対的にXY方向に移動させて、上 記移載ヘッドに装着されたノズル部を、上記回 収手段に回収するとともに、この最送担体に健 えられた交換用ノズル部を移載ヘッドに装着し た後、この旋送阻体を上記位置決め部から搬出 するようにしたことを特徴とするノズル部の自 動交換方法。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明はノズル部の自動交換方法に係り、電 子部品を基板に移送搭載する移載ヘッドのノズ ル部を自動的に交換するための手段に関する。 (従来の技術)

電子部品実装装置は、移載ヘッドのノズル部 に世子部品を吸着し、位置決め部に位置決めさ れた基板に移送搭載するようになっている。

電子部品の形状や寸法は様々であることから、 上記ノズル部は、電子部品の品種に応じて適宜 交換するようになっている。従来の交換手段は、 基板の位置決め部の拠方に、交換用ノズル部を 備えたテーブルを配設して構成されており、移 戯へッドをこのテーブル上に到来させて、移載 ヘッドに装着されたノズル郎と交換用ノズル部 を交換するようになっている。

(発明が解決しようとする課題)

ところで近年、電子部品は益々多品種化して おり、このためノズル部の品種も多数化してい る。ところが上記従来手段は、テーブルは基板 の概方に配設されているので、テーブルの寸法 には限界があり、チーブルを大型化して、多品種の交換用ノズル部を装備させることはきわめて困難であった。

したがって本発明は、多品種のノズル部の自動交換が可能なノズル部の自動交換方法を提供 することを目的とする。

(課題を解決するための手段)

?の電子部品Pをノズル部 8 に吸着して基板 4 に移送搭載する。

第2図は、ノズル部8を孔部11に回収している様子を示すものである。移載ヘッド1は、 ノズルシャフト21、ブロック22、ブロック 22にピン23を中心に回転自在に軸着された 係合爪24、この係合爪24を内方に付勢する

⁽²⁾ (作用)

上記構成において、ノズル部を交換するときは、基板を位置決め部とし、機送担体を位置決めする。次は数数へった移動させないで移動させながら、ノズル部を交換し、交換が終了した。を送担体を位置決め部から始出した後、を返送担体を位置決めませる。 位置決め部に再び位置決めして、電子部品の実施作業を再開する。

(実施例)

次に、図面を参照しながら本発明の実施例を 説明する。

第1図は電子部品実装装置の斜視図である。 1は移取ヘッドであり、X Y テーブル 2 . 3 に 装着されている。 9 はコンペヤであり、基板 4 を位置決め部 5 へ搬送する。この位置決め部 5 は、基板 4 をクランプして位置決めする。位置 決め部 5 の側方には、トレイフィーダのような パーツフィーダ 7 が設けられている。移取ヘッ ド 1 は X Y 方向に移動し、このパーツフィーダ

コイルばね25等から構成されている。またこの係合爪24の背面には、上記受部12の上面に押当する押当部26が突設されており、またその下端部には、ノズル部8の側面に滞状に形成された係合部8bに係脱自在に係合する爪部27が形成されている。

本装置は上記のような構成より成り、次に動作の説明を行う。

コンベヤ9により、基板4を位置決め都5へ 搬送し、基板4を位置決めする。次いでXYテーブル2、3が駆動して、移載ヘッド1がXY 方向に移動しながら、パーツフィーダ1の電子 部品Pを基板4に移送搭載する。

電子部品Pの品種交換にともない、ノズル部 8 を交換するときは、基板 4 を位置決め部 5 から搬出し、コンベヤ 9 により搬送担体 1 0 を位置決め部 5 まで搬送して位置決めする。

次いで移電ヘッド1は回収部Aの孔部し1上 に到来し、移電ヘッド1は下降する。するとノ ズル8aは孔部11に嵌入し、また押当部26 (3)

は受部12の上面に押当して係合爪24が鉱開することにより、爪部27は係合部8万から離 脱し、ノズル部8は回収される(第2図参照)。

本発明は上記実施例に限定されないのであって、例えば難送担体10の回収部Aと配設部Bを分割形成し、両者A、Bを別個にコンベヤ9により搬送するようにしてもよい。また本発明は、移載ペッド1がXY方向に移動する上記実

体のコンベヤとして兼用するので、構造が簡単であり、しかもこの厳送担体は、交換時のみ位置決め部に難入されるので、ノズル部の数が多くなって難送担体が大型化しても、スペース上の問題を生じない等の効果を有する。

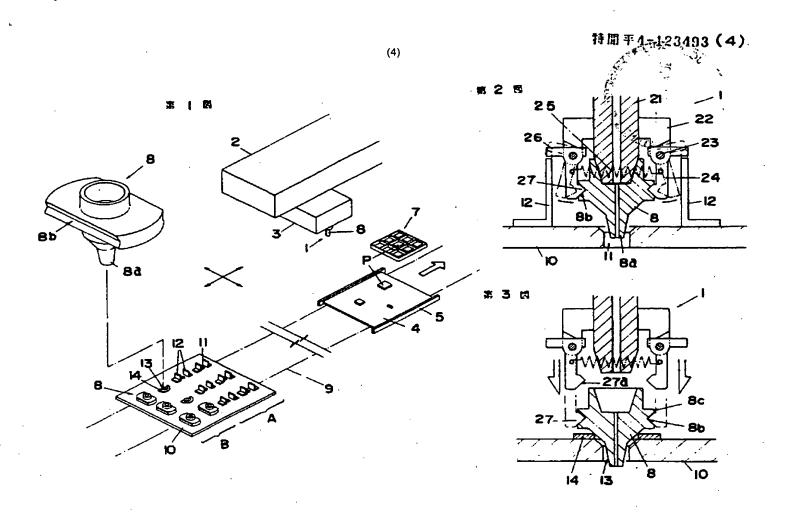
4.図面の簡単な説明

図は本発明の実施例を示すものであって、第 1 図は電子部品実装装置の斜視圏、第2 図及び 第3 図は交換中の要都断面圏である。

- 1・・・移取ヘッド
- 4・・・基板
- 5・・・位置決め部
- 8・・・ノズル部
- 9・・・コンベヤ
- 10・・・搬送担体
- 11.12 · · · 回収手段

出顧人 松下電器 監集 株式 会社 代理人 弁理士 小鍜冶 明 外 2 名 施例の電子部品実装装置に限らず、基板がXY 方向に移動するロータリーヘッド式電子部品実 装装置のような他の方式の電子部品実装装置に も適用できる。

(発明の効果)



This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.